

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	55	事業名	介護職員確保事業	担当部課	福祉部長寿課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市潜在的有資格者等再就業促進事業実施要綱、長久手市介護職員初任者研修等受講料助成金交付要綱			3-1-2 老人福祉費	
	事業開始の背景、経緯等	市内の介護サービス事業所における介護人材不足は喫緊の課題であり、将来にわたって介護の必要な人が安心してサービスを受けられるよう介護人材を量と質の両面から確保していくことが必要であるため、必要な事業を実施する。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内介護サービス事業所への就職を促進する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 介護の仕事に興味のある方。
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 将来にわたって介護の必要な人が安心してサービスを受けられるよう、介護サービス事業所で働く介護人材を量と質の両面から確保する。

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	事業費(A)	千円	予算	—	500	1,850	1,850	1,061
人件費(B)	千円	決算	—	2,014	1,987	2,259		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	—	2,036	2,297	2,494		
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		—	4	5	4	5	
対象あたりコスト(C/D)	千円		—	509	459	624		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	介護人材確保数	人	目標	—	5	5	5	5
			実績	—	4	5	4	
(指標の設定根拠)				(数値目標の根拠)				
新規に介護人材を確保すれば、質の高いサービスが提供できると考えられるため。				介護事業所への就職が少ないことから、少しずつでも、人材確保する必要があるため。				
(前年までと変更した場合はその理由)								

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 概ね達成されている。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 介護のしくみの出前講座などで、介護職員初任者研修の声がけを行い、参加していただいた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) きっかけ作りが重要と捉えているので、出前講座などで参加の声がけをしていく。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	介護職員確保事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン】 介護職員確保人数【単年】	人	見込	5	5	5	5	5
			実績	4				
(3)	介護職員初任者研修実施回数	回	見込	1	1	1	1	1
			実績	1				
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 介護職員初任者研修を事業者と市の共催により市内(福祉の家)で実施							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	事務事業②	介護職員確保事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③	介護職員確保事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 将来にわたって介護の必要な人が安心してサービスを受けられるよう、介護サービス事業所で働く介護人材を量と質の両面から確保するため事業継続していく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 介護事業は、超高齢化社会に向けて必要とされるため、質の高いサービスを維持継続に向けて事業継続していく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・毎年5人の目標ですが、確保事業を行うことで、本市の介護人材の新規就労が近隣市町と比べて多いのか、事業として意味があるのかを検証してください。有意が認められないのであれば、より高い目標を設定するか、事業の廃止を検討してください。
内部意見への回答		